

教育目標 心身ともに健やかで、心豊かな子供を育てる

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	
夢中になって遊ぶ子供を育てる	遊びの中でみえてきた学びを読み取り、適切な環境や援助を探る	体験活動の充実	豊かな体験活動	遊びの中で、子供が自ら考え、工夫することができるよう環境構成を行った。園庭の遊具や用具を精選したことで、子供が遊びを自ら考えだすことができていた。
			地域散策や園外保育の充実	遠足で緑花センターに、また地域の和歌山城公園、中消防署等にも園外保育に出かけた。本物に触れたり、季節を感じたり、自然に触れたりする等の活動を行った。
			園内環境の工夫	子供が自由に行き来できるように倉庫の扉を外し、遊びに必要な素材を選ぶ場にした。絵本の部屋は、本棚の位置を変えたり、出版社別に絵本を並べたりすることで、落ち着いて絵本に親しむ場となった。
		豊かな感性や心身の育成	自然とのふれあい	花壇やプランターで、四季折々の花や野菜を育て、遊びに使えるよう環境構成をした。春には、花で色水遊びをしたり、夏には水遊びや泥んこ遊びをしたり、子供の興味を高め、遊びに生かしている。JAの協力をいただき、プロコリー、大根の栽培を通じた食育にも力を入れた。
			生き物とのふれあい	バッタやダンゴムシなど、興味をもって捕まえたり、観察したりできるように、野菜を植え、雑草を残し生き物が集まるような場所を作ってきた。また、ウサギの飼育、グッピーやメダカを育て、命ある生き物への親しみ、関わり方を育ててきた。
			様々な人とのふれあい	附属中学校3年生と全園児との交流や伏虎義務教育学校1年生との交流、近隣の附属小学校1年生と5歳児の年間を通しての交流遊びを実施し、様々な人との触れ合いを楽しめるような機会を大切にしてきた。
	子育て支援の充実	保護者への情報発信	行事の様子や子供の活動の様子などを、園だよりやクラスだより、ホームページ、写真の掲示を通して、園での取組みを発信している。保護者が来園したときに目につくように、下駄箱の上に子育てに関するチラシや情報誌を集めたり、掲示板での情報も更新したりして、保護者の子育てに関する情報のアップデートに努めてきた。	
		保護者との連携	降園時、その日にあったこと、気になったこと、褒めてあげたいこと等、子供の様子や活動の様子を伝えている。また、家庭訪問や個人懇談では、子供の成育環境・成育歴、保護者の願いを伺う機会とし、家庭との連携を深めることに努めている。	
		親子のふれあいの場の提供	和歌山城公園への親子遠足や運動会での親子競技、親子体操教室、親子コンサートなどを実施した。また、未就園児の集いでは、年間計画を立て、支援センターとも連携し、集いを実施することで親子のふれあいの場を提供した。	

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

保護者から「イベント時に仕上がりを求めない幼稚園の考えが好きです。」「毎日、目的や意欲をもって通っています。その思いに寄り添ってご指導や準備をして頂けていることに、先生方の愛情を感じて、日々感謝しています。」「担任の先生はもちろん、園全体で一人一人見てくださっていると感じ、安心して預けられています。」「共働き世帯の増加に対し保護者の活動や年間の短縮日、長期休暇の設定などがややハードルになると思われまます。今後、一人でも多くの子供が、この園の扉を叩ける機会が増えるよう願っています」等を頂くとともに、園全体についての評価においても「そう思う」とても「そう思う」を合わせるとほとんどが100パーセントの評価を頂いています。この評価を励みにし、「そう思わない」という評価にも目を配り、すべての子供や保護者に寄り添った保育を実現できるよう、今後も取り組みたいと考えています。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

本園は小学校と併設していない単独園ということもあり、特色を生かしながら様々な活動を教育に取り入れている。園児が遊びの中で学ぶということを大切に、子供主体の遊びや園生活ができるような配慮と援助をしている。3歳児から5歳児までの3年間での学びや経験の積み重ねを大切に教育を行っている。また、預かり保育を18時までとし、就労している保護者の方に利用してもらっている。このような園の取り組みについて、保護者は勿論、未就園児の保護者にも、知ってもらう機会を増やし、幼児教育で育まれる様々な経験や思いの中にある「学びの芽」の育ちを伝えていきたいと考えます。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

- ・今回は行事(節分)へ取り組む姿をみて、5歳児がクラスで作った鬼にはきつと話し合ったり、一人で作業したり、みんなで協力したり、相手の思いに気付いたり、いろいろなことが経験できたのだろうと感じた。
- ・子供たちが季節の行事に関心をもち楽しく取り組んでいて、一人一人が個人で作った鬼の面やクラスで作った四面の鬼など子供のしたい事を中心に行っているのが良いと思った。
- ・年間を通し岡山幼稚園の教育では、保育は誰のための何のためにあるのかと先生方で考えてくださっていること、子供が主体的に考え、動くことの将来的な意義を知り、夢プラン実現が行えていることと思う。
- ・他学年や他の学校との交流も積極的に行っている様子が伺え、子供たちの成長につながっていると思う。
- ・スローガンを目指すには体験活動が大切だと思う。一人一人が自分で考え学んでいる姿が見られた。
- ・園児のために日頃から先生方で話し合い工夫していることが伝わってきた。限られた職員で園児を見守り教えていくのは大変だと思うが【夢】をもてる子供を育てていただきたい。